

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	成人脊柱変形患者および腰椎変性疾患患者における立位全身アライメントと重心動揺計によって計測した立位バランス—健常人との比較—
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>【対象者及び対象期間】</p> <p>亀田第一病院を受診し、2014年5月～2019年4月に立位X線撮影検査（EOS）および重心動揺計計測を受けた患者。</p> <p>亀田第一病院でEOSの臨床研究（下記）に同意し、2014年1月～2月にEOSおよび重心動揺計計測を受けた健常ボランティア。</p> <p>【過去の研究課題名と研究責任者】</p> <p>研究課題名「Slot scanning 3D X-ray imager (SterEOS)による日本人立位脊柱標準値の確立」 研究責任者：長谷川和宏</p>	
③概要	
<p>人は苦も無く立っていることができます。しかし姿勢維持のためには五感からの情報を正しく処理し、筋肉を制御する複雑なメカニズムが働いています。今回そのメカニズムの一端を知ることを目的に、立位全身アライメント（せぼねの弯曲など）や年齢・性別・身長・体重などのデータと立位バランスとの関係を明らかにするために本研究を計画しました。</p>	
④承認番号	2019-0251
⑤研究の目的・意義	低X線被曝で3次元立位全身骨格を撮影できる唯一のX線機器であるEOSおよび立位における体の揺れを計測する重心動揺計によるバランス計測システムを用いて、立位全身アライメントと立位バランスの関係を明らかにすること。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2021年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	対象となる方の基本データ（年齢、性別、身長、体重等）、疾患情報（病名、症状、治療内容等）、及び亀田第一病院にて行われた立位X線撮影検査（EOS）と重心動揺計の計測値を利用します。使用するデータは亀田第一病院内で個人が特定されないように匿名化を行い、新潟大学では匿名化済みのデータのみ直接受け取って利用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	基本データ（年齢、性別、身長、体重等）、疾患情報（病名、症状、治療内容等）、立位X線撮影検査（EOS）と重心動揺計の計測値

㊟利用の範囲	亀田第一病院 新潟大学大学院保健学研究科
㊟試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院保健学研究科 教授 笹本龍太 亀田第一病院 放射線科 初鹿野駿
㊟お問い合わせ先	新潟大学大学院保健学研究科 笹本龍太 Tel: 025-227-0521 E-mail: rsasa@clg.niigata-u.ac.jp